

ASUたちばな会報

第6号 (令和3年11月発行)

会長就任のご挨拶	本川 暉久	1
退職してから22年	丹羽 和彦	2
木曽路 (中山道木曽11宿)	原 知之	3
「身の丈」の満足	吉田 隆二	5
令和3年度 総会次第		7
事務局より	増田 洋平	8

会長就任のご挨拶

本川 暉久

このたび令和3年度から2年間会長をお引き受けすることになりました。

私は、昭和53年10月から平成15年3月まで名経専（現ELICビジネス&公務員専門学校）・異動後の大学（短大）通信教育部で平成22年まで32年間、勤めてまいりました。

名経専勤務時代には、大学卒業資格が取れる専門学校として、三河高校・工業高校・専門学校（電波学園も含めて）からの入学生募集、部活動や姉妹校球技大会などで、また、大学通信教育部勤務時代には学園の皆様には大変お世話になりました。

ASUたちばな会は平成23年創設から初代兼元会長、2代目原会長を中心に理事会の開催、学園行事への参加、総会・新年会の開催、会報の発行など行ってきました。

コロナ禍での運営になりますがそれらを引き継ぐとともに、定期的な会報の発行、規約の見直しなどを進めていきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

【令和3年度 ASUたちばな会役員】

会長：本川 暉久

理事：杉浦 三雄、大濱 慶和、宇野 弘、恒川 光夫

監事：横江 嘉明、原 康二

退職してから 22 年

丹羽 和彦

今年も半年が過ぎ、7月で83才になりました。在職中は青春真っ最中の高校生から元気をもらいながら、楽しい教職生活を送ることができました。

退職してからは、親の介護をしながら、庭木(マツ、モミジ、カイヅカイブキ、モチノキ、サツキ、キンモクセイなど)の剪定を始めました。本を読んだり、教えていただいたり、植物園を散策したりして、時間もかかりますが、庭の手入れをしています。

地域とのつながりも大切にし、自治会の中で支援隊(防災活動)に所属し、夜回りや町内行事の手伝いをします。秋には、防災訓練を行ない、防災倉庫の点検、ポンプによる放水、消火器による消火、避難経路や集合地の確認など、町内の安全に協力しています。

旅行は、よく出かけました。ドライブではおもに高速道路を利用し、城好きな孫が6年生の時、一緒に四国の今治城、松山城、高知城、丸亀城、高松城を巡りました。城の美しさと時代の歴史を学ぶことができました。

バス旅行は、巖島神社、足立美術館、岩見银山、出雲大社、松江城の堀を舟で巡る、このコースが印象的でした。

また、列車では、名古屋駅から出発し、東京ー札幌(泊)ー稚内(日本最北端の駅)ー登別(泊)ー東京ー金沢(泊)ー大阪ー博多ー指宿(泊)ー西大山(日本最南端の駅)ー名古屋到着。4泊5日の旅行で窓から見る景色の変化を楽しみました。

昨年、オリンピックが延期になり、今年、開催することができました。テレビ観戦中、選手の真剣な姿に感動しました。私は体力作りのため、もっとウォーキングに励みたいと思いました。

ところで、昨年から新型コロナウイルスが発生し、我々の生活をおびやかしています。子供や孫や友人に会えない生活が続いています。先日も親戚の叔母さんが、怪我で入院されました。しかし、お見舞いができない状況が続いています。目に見えないコロナとの戦いです。ひとりひとり責任ある行動をとることが大切です。早くコロナが終息することを願っています。

木曾路（中山道木曾 11 宿）

原 知之

昨年 4 月は新型コロナ感染防止対策により、大学生はリモート授業、職員は在宅勤務、入学式・卒業式などの諸行事も自粛、在職 40 年して初めての経験をしました。新型コロナ変異株の猛威が続き、自然災害が発生していますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は昨年 7 月に学園を離れ（大学・短大・専門学校 6 校に 40 年超在職、主に情報関係教員、教務事務、就職事務）、11 月に 40 年ぶり地元（長野県木曾郡）に U ターンして早いもので、1 年が経とうとしています。再就職はせず、班の役をこなす日々、最近では新型コロナワクチン 2 回接種も終わり、同級生が U ターンを聞きつけ歓迎会を催してくれたことです。

さて、私は 47 都道府県（制覇）を訪ねる旅行を目指し退職後も計画していましたが、コロナ禍で他県またがる旅行ができず紹介できませんので、地元木曾路（中山道木曾 11 宿）の見どころ等を紹介させていただきます。『木曾路はすべて山の中である』の書き出し始まる「夜明け前」（島崎藤村）の時代とは違い、国道 19 号線、JR 中央線（西線）を利用して、1 時間 30 分から 2 時間 30 分で名古屋から来ることができます。観光やトレッキング等で訪れる方も見かけますので、木曾路を訪れる際に役立てていただければ幸いです。

木曾路（中山道木曾 11 宿）

○是より南 木曾路（本山宿と贄川宿の間に石碑があり）

1. 贄川（にえかわ）宿（塩尻市） 木曾 11 宿の最北端、深澤家住宅（国の重要文化財）、贄川関所（復元）、観音寺（十一面観音、薬師如来像）、麻衣廼（あさぎぬの）神社
2. 奈良井宿（塩尻市） 鳥居峠のふもと、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定、中村邸、上問屋資料館、大宝寺（マリア地蔵・庭園）、八幡神社（杉並木・二百地蔵）
3. 藪原宿（木祖村） 分水嶺がある鳥居峠ひかえ飛騨街道の追分、お六櫛の里、木祖村郷土館（ねずこ細工）、宮川家資料館

4. 宮ノ越宿(木曾町日義) 木曾義仲ゆかりの地、徳音寺(木曾義仲の菩提寺)、旗拳八幡宮、南宮神社、資料館「義仲館」
5. 福島宿(木曾町福島) 福島関所(四大関所のひとつ)、木曾川に沿って崖家造りの家が建ち並ぶ、福島関所資料館(福島関所跡)、山村代官屋敷、興禅寺(木曾氏の菩提寺)、高瀬家(藤村ゆかり)
6. 上松宿(上松町) 木曾ひのきの集散地、材木奉行所跡、王林院(寢覚の床)、木曾の棧(石積)、赤沢自然休養林
7. 須原宿(大桑村) 桜の花漬けが名物、定勝寺(重文の本堂・庫裡・山門、鶴・亀蓬莱庭園・木曾ヒノキダルマ座像)、大桑村歴史民俗資料館
8. 野尻宿(大桑村) 奈良井宿に次ぐ長さ格子窓と低い軒並みが垣間見える、七曲り(所々狭く曲がりくねった街並み)、妙覚寺(マリア観音・石仏)、阿寺溪谷、のぞきど森林公園(キャンプ場)
9. 三留野宿(南木曾町) 妻籠と並んで栄えた宿場、出梁造(だしばりづくり)や卯建(うだつ)のある家が残る、等覚寺(円空仏)、桃介橋(近代遺産)
10. 妻籠宿(南木曾町) 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定、出梁造(だしばりづくり)、塹繁格子や卯建(うだつ)のある家、脇本陣奥谷、光徳寺(ウグイス張り廊下・欄間)、上嵯峨屋(木賃宿)
11. 馬籠宿(中津川市) 島崎藤村の生誕地、坂道の両側に古い家並み(復元)、馬籠脇本陣資料館、藤村記念館、永昌寺(藤村の菩提寺)、清水屋資料館、槌馬屋資料館

○是より北 木曾路(馬籠宿と落合宿の間に石碑があり)

木曾路(中山道木曾11宿)のほかに、御嶽山、木曾駒ヶ岳、開田高原、木曾馬、木曾五木、木曾路七福神、島崎藤村、木曾義仲、東山魁夷、ほお葉巻き、からすみ、五平餅等の見どころ、人物、食べ物を探求してはいかがでしょうか。

「身の丈」の満足

吉田 隆二

いや一困ったものです。少しずつ慣れてきてはいるものの、毎日に緊張感がないのですよ。現役の頃感じたプレッシャーやストレスが殆どないので、ダラダラしてしまいます。ちょっとは緊張する状況も欲しいと感じてしまうのは、まだまだ退職後の悟りを開いてはいない未熟者だからでしょうね。頑張っただけで石の上に座禅でも組みます。ってか、退職して3年過ぎましたから、自分自身の出来の悪さにほとんど愛想が尽きそうですよ。皆さんにはこんな私を見捨てずにたまにちょっかいを出して欲しいものです。「退職後はおまけみたいなもの」を開き直ってはみるものの、マズローの5段階欲求など3段階以降はさっぱりですよ。4段階の「承認欲求」にいたってはSNSで「いいねー」なんか貰おうとあざとい悪知恵が頭の中で囁くことも有るっちゃー有るのですが、いかんせんスマホの文字の小ささに反撃を食らっちゃいます。かといってPCは元々苦手だったし、現役の頃のPCトラブルは情報系の先生方に「何にもしてないのにパソコンが変になっちゃったー」と嘯いて教えていただいていたんですよ。そんな時は必ず「何もしない訳ないでしょう」と怒られるんですわ。何にもしてないことはないはずですが「記憶になーい」とこちらも一步も引かず上司としての立場を悪用して直してもらおう。こんな程度の低いPC能力ではまったく役に立ちません。情報発信など出来るわけがない。でっ、「承認欲求」はバツサリ諦めちゃいました。もともと「欲求」については強くないんですよ。美味しいものが食べたいとか、いい服着たいとか、いい車に乗りたいとか、食欲や物欲がさして無いことはとても有難いことだと痛感します。

しかし、時間はたっぷりありますから竿を持って山や溪谷に足を運んでいます。長年の趣味、西洋毛鉤釣り(フライフィッシングというハイカラな呼び方をします)ですが「自己完結」出来ることに魅力があるんです。

趣味においては、社会人となってからアメリカンフットボールからテニス・サーフィン・オートバイ等々節操の欠片もなく手を出しては、それぞれの趣味を楽しんでいました。コレクター的な趣味は無かったですねー。歳を重ねるごとに複数人での趣味が難しくなって残ったのがこの趣味で、すでにキャリアは

だけは30年を超えたのですが腕前は一向に上達はしませんね。溪流を楽しむことから時にはテントを持っての登山となっちゃいます。40歳を過ぎた頃から林道から登山道、その登山道を外れて溪谷沿いを登り、テントで野営しての釣りをするようにもなりました。たまに熊さんにも遭いますよ。でも出来れば檻を隔てない状況ではお会いしたくないので熊鈴ガンガン鳴り響かせるんです。魚も逃げてしまいますね。ナタやノコギリは必需品でこれが無いと前進不可能。足元さえも見えない藪こぎも未整備地帯の登山ならでは、でも、これは楽しい訳ではないのですが、他の人が行かない場所まで全身傷だらけになって進むと・・・フッフ、いいことがあるんです。

ところで、私、山登りは若い頃にしていたのですが、改めて登山用具を揃えた時は驚きの連続、目から鱗がポロポロと何枚も落ちる始末。特に寝袋のコンパクトさにはびっくり、以前に持っていたものの5分の1ほど、性能は変わりませんよ。釣りがメインですからウルトラライトの装備(30Lリュックが限界)なんです。車止めから山小屋を1つ2つ超えて一日がかりで登ってから釣りがスタート、なんて場合もあります。

また、この趣味は毛鉤を巻く(ボビンに巻かれた糸を針に巻き付けながら色々な素材をアレンジしていくので「巻く」と言うようです)ことも一つの楽しみ。水生昆虫から陸生昆虫とその時期に捕食しているものに似せて巻きますから、日頃の良い暇つぶしにもなります。しかしながら、膨大な時間は目の前にあるんです。目を背けることはできません。草木の水やりから日曜大工、その他多々気付いた時に思ったことをノートに書き出したものを一つ一つ片付けていく毎日です。

最後に、どうも私は家事が好きなようで、掃除、洗濯、料理と毎日の半分以上の時間が過ぎていくのです。今後も「身の丈」に合った欲求と満足を積み重ねて日々を送るつもりです。皆さんご支援ください。って、これも「承認欲求」ですかね。

尚、駄文つき失礼な箇所もありますが、どうかお許してください。

令和3年度 ASUたちばな会 総会

日 時：令和3年10月30日（土）11時～12時
場 所：愛知産業大学工業高等学校 橘校舎3階会議室
名古屋市中区橘2-6-15
TEL：052-339-2781

総会次第

1. 黙祷 物故者 渡辺 孝夫 先生 令和2年4月
今井 康博 先生 令和2年4月
兼元 博史 先生 令和3年5月
今 俊人 先生 令和3年8月
2. 開会のことば
3. 会長あいさつ
4. 新役員あいさつ
5. 新入会員の紹介（2年度入会5名）
6. 令和2年度活動報告
 - (1)理事会 インターネット、郵送により開催
本川暉久次期会長の選出
 - (2)総会 コロナ禍により中止
 - (3)会報第5号 発行
7. 令和2年度会計報告
8. 令和3年度活動計画
 - (1)第1回理事会
日時：令和3年7月17日（土）13時30分～
場所：学校法人愛知産業大学 法人事務局 役員会議室
 - (2)総会及び第2回理事会
日時：令和3年10月30日（土）
場所：愛知産業大学工業高等学校 橘校舎3階会議室
 - (3)会報第6号 発行
9. その他
10. 閉会のことば

以 上

事務局より

この度、会報第 6 号を発送させていただくことになりました。これは皆様のご協力の賜物だと思っております。誠にありがとうございます。

さて、昨年よりコロナ禍が続く中、漸く新型コロナワクチンの接種が始まり、9 月中頃より感染者数も減少し始め緊急事態宣言も解除されたため、本年 10 月 30 日(土)に 2 年ぶりの ASU たちばな会総会を開催することができました。変異株の発生など未だ予断を許さない状況ではありますが、少しでも早く平穩に過ごせる時が来ることを願う毎日でございます。

このような中ですが、設置校の一つである愛知産業大学工業高等学校は、今年度創立 60 周年を迎えることとなり、6 月 10 日に記念式典を挙げていたしました。これも本校の歴史と伝統を築き上げてきた教職員先生方のお力によるものであり、ここに厚く御礼申し上げます。尚、記念式典は新型コロナウイルス感染症予防対策のため規模を縮小して開催したことから、ASU たちばな会としては参加できませんでしたので、ご了承いただきたく思います。

また、愛知産業大学硬式野球部が、今年度の愛知大学野球春季リーグ 2 部において優勝し、平成 29 年から 4 年ぶりの 1 部リーグ復帰を果たしました。本学園各校学生・生徒の活躍は、学園広報誌コミュに掲載させていただいておりますので、是非ご一読いただきたく思います。

以 上

連絡先：法人事務局 業務課 増田 洋平

〒460-0016 名古屋市中区橋 2-6-15

TEL：052-339-2781 FAX：052-339-2782

E-mail：ymasuda@asu.ac.jp